担当看護師＿＿＿＿＿＿＿＿

内視鏡的食道・胃粘膜剥離術を受けられる＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様

20　　年　　月　　日 患者本人/家族または代理人＿＿＿＿＿＿＿＿

	術前	術当日		急性期		退院日
		1日目（　　/　　）		2日目（　　/　　）	3日目（　　/　　）	4-6日目（　　/　　～　　/　　）
	入院まで	術前	術後	術後1日目	術後2日目	術後3-5日目
投薬注射	・薬によっては内服できない場合がありますので、普段飲まれているお薬(常用薬)をお知らせください	・点滴を行います	・点滴を持続的に行います →	・食間に水薬の胃薬を10時、14時、20時に飲んでいただきます	・食事の状況で点滴を終了します ・持参薬は医師の許可がでたら開始します	
指示処置		・弾性ストッキングをはきます	・心電図モニターを医師の指示があるまで装着します ・必要時、酸素吸入を行います	・検査結果で心電図モニターを外します ・歩行ができれば弾性ストッキングを脱ぎます		
検査			・術直後に胸とお腹のレントゲンがあります	・採血があります ・胸とお腹のレントゲンがあります		
安静度	・病棟内自由です		・指示があるまでベッド上安静です		・指示により病棟内自由になります	
栄養	・夜9時以降食べることができません ・水やお茶は24時まで飲むことができます	・飲んだり食べたりできません		・食事は出来ませんが、許可があれば水分はとれます	・食事は医師の許可がでたら開始します ・はじめは流動食が出ます 状況をみて食事形態があがっていきます ・栄養士より栄養指導があります	
清潔	・制限はありません	・入れ歯、指輪、時計、コンタクトレンズ、眼鏡、ヘアピンなど外しておいてください		・体拭きをします		・許可があればシャワー浴ができます
排泄			・医師の指示で、車椅子にてトイレまたはベッドサイドで尿器を使用します	・医師の許可がでたらトイレ歩行できます		
説明指導	・入院、手術に必要なものを準備しましょう ・手術同意書、入院時書類を提出してください					・退院後の生活について説明を行います
観察	・検温を行います	・検温を行います ・腹部症状などの観察をします	・術後2時間は30分～1時間おきに検温します ・全身状態の観察をします	・検温を行います ・腹部症状、便の状態を観察をします		

看護計画
＃１　入院・手術に関連する不安
分からないことや不安なことがあれば看護師にお知らせください

看護計画
＃２　腹部症状がみられない
異常の早期発見に努める

看護計画
＃３　転倒・転落の危険性
歩く練習をしましょう

看護計画
＃４　退院後の生活に対する不安
退院後の生活について不安なことは相談してください



◎この計画表は一般的なものです。場合によっては、この通り経過しないこともありますのでご了承ください。